

令和5年度 学校運営等に関する評価書	
学校名	和歌山市立 鳴 滝 小 学 校
作成日	令和 6年 2月 7日

1 教育目標

最後まであきらめずによく考え、感謝の気持ちを忘れず、心身共に健やかな子供の育成
～知育・徳育・体育のバランスを大切にした生きる力を培うことを目指して～

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査で正答数の県平均値を上回る ・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教員90%以上)	・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上) ・「ルールやマナーを守って授業を受けることができた」(児童80%以上)	・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童90%以上) ・体力テストの平均値を県平均以上を目指す	・保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている」(保護者90%以上) ・地域への情報発信が行えた(保護者90%以上・地域の方等の声)
意見重点目標に対する	・読書の推進について、タブレット等も増えてきているが、本の文字を読むのは大切だと考えています。デジタルでは味わえないアナログの良さも子供たちには感じているので期待したい。 ・「児童主体の授業の推進」に対してよいと思う。その他も必要であり、目標に多くを学ばなければならない。基礎学力の充実はこれから多くを学ぶ全ての基礎となるところ。しっかりと身に付けてほしい。 子供たち自身で授業を進めていくのは自信がいたり、やる気にもつながる。発表するのが苦手な子供も皆でサポートし自発的にできる様、雰囲気作りにも大事なところである。	・ごもつともです。 ・心が育つ大切な6年間。他人を思いやる気持ちをもち、人に対して、物に対しても丁寧に接する子になってほしい。 心が育まれることで自身も大切にできる様になってもらいたい。	・「基本的生活習慣の確立」で睡眠の目標をもう少し立ててもいいかなと感じました。実際に私が児童に「ゲームを深夜までしていて眠たい。」と言われたため。 ・生活習慣は各家庭でのサイクルの協力が大事なところ。生活調べは早寝、早起き、朝ごはんのリズムを作る大切さ、どう身体に良いのか、はみがき洗顔等清潔を保ち、ハンカチ、ティッシュを常備し身だしなみを整え定着できる様推進し呼びかけ続けてほしい。 ・生活面、勉学においても時間の区切りをもたせてほしい。	・子供見守り活動で、登校時に学校近くの交差点に立ち、児童の登校を見守っている。「今日も元気にがんばって来。」と声をかけると「ハイ。」と大きな声で答えてくれてうれしかったです。 ・学校の花植え(葉ボタン)と一緒に、一生懸命植えてくれました。 ・交流活動はとても大切だと思う。 ・地域の方々、お店の方、医師など専門の方を講師に迎えたり、実際に行かせてもらい体験できたりすることで連携が取れ、信頼関係が生まれ、子供たちも色々な分野に触れ、刺激や興味をもつことができる。
意見組状況に対する	・何事も基礎が大切なので、繰り返し学ぶ時間があるのは嬉しい。 ・少人数だからこそ、自分の意見も言いやすい部分もあるだろうから積極的な声を出して授業を進めていけるのはいいと思います。 ・普段から時間を作り、取組が見られ良いと思う。 ・児童主体の授業ができていないと感じたところもあり、校長と担任の共有が取れているか疑問が残る。 ・複式学級での取組は、それぞれ役割で個々に責任感も育まれ、とても良いと思います。先生方の日々の研究が子供たちの育成の向上につながると思います。 ・読書が苦手な子供たちが多く、物語から知る言葉、感情であつたり言葉を書く大事な時間、学校でも家庭でも読める機会を習慣づけてほしい。	・人権、道徳はこれまでの考え方、又これからの考え方と、その時代によって変わる部分もあると思うので、学ぶ活動は積極的に行って欲しい。 ・ネット社会も年々複雑化してきているので、危険性について常に頭にあるようになってもらえたらと思う。 ・特別授業で人権をテーマに保護者と先生、地域の人に私たちが参加できとても良い経験になった。 心や体の育成も思春期に入ってくる中・高学年になると行動や意見が違って来たり、対立する面なども起こることもあるので、児童間での解決の仕方と見守ると同時に未熟な面にはケアとサポートをお願いしたい。 しっかりと声を張り援護の大切さを常に伝え続けていってほしい。	・自身の子供も最近では朝ご飯を食べるようになったが、まだ量にもムラがある。成長期の大切な体作りのために、授業等で自分の体について学ぶことで、より早寝、早起き、朝ごはんも身につけてくれるといいと思う。 ・取組状況、素晴らしいです。 ・人間の体を知ることとはまず自分自身の体の状態を知る、興味をもたせる、コロナ以前から行っていた「自身の平熱を知る」体の調整の1日のスタートを切る第一歩。自分の身体を大事に考えるために継続してほしい。	・土曜日の子どもセンター事業で1月27日は「ドッジボール教室」でした。7人参加で楽しく投げ合いをしました。その中の女子児童でボールを上手に受け、投げけるのも素晴らしいです。 ・地域の方と交流をもつことで、様々な年代の方とも触れ合い、相手を敬うなどの気持ちも育めいいと思います。 ・自分の身近にある施設を学ぶことで、地域福祉、社会福祉にも関心をもってもらえると嬉しいと思う。 ・これからも継続してほしい。 ・地域には毎月回覧版で「学校だより」を観ることが出来、子供たちの活動や頑張りの取組を知ることが出来る。
に取組の適切さの検証結果	・記述教科が苦手なことで、やはり国語の大切さ考える。どの教科においても点数しか見ていないところもあったので、持ち帰ってきたテストの中身をもっと見えて子供に改めて復習直すことも必要だと感じた。 ・成果に対して、データ化し分析されておりすばらしい。 ・それぞれの学年によって自分の考えや意見を自信をもって言えるようになり、国語や読書をする中で身につく語彙力、読解力、書く力の必要性、実用性を段階を経てしっかり伸びる体制を充実し、継続していただきたい。 ・何回となく繰り返し、刷り込む学習で自分の力になるのだと思う。 ・成長に伴い、人の話を聞く力も重要である。 ・各学年児童数が少人数なので、しっかりと学べる良い面が結果につながると思う。 ・デジタル化が進んで良い反面、考え工夫する習慣が薄らいできているかもしれない。	・放課後のトラブルであったが、親身に、又子供たちへの聞き取りや話し合いも、話しやすいようにとそれぞれに配慮いただけたところもあり、ありがたかった。 ・「ありがとう集会」児童が考えた聞き、豊かな心であり、柔軟な考えをもっていると感じるを得た。 ・「ありがとう集会」での人権学習では、児童、保護者、地域と共に講習を聞いて、それぞれの立場でも響いてくる内容で解りやすく、とても良い機会だったと思う。これからの機会を継続的に行ってほしい。 ・学校と保護者が共有し、同じ方向を目指せた結果が感じられました。 ・上・下学年の児童が下学年の児童に対して思いやりをもって関わっていることはすばらしいです。 ・下学年の児童の心にも受け継がれ育ってほしいですね。	・災害はいづれ来るかわからないものなので、日頃の訓練が大切になると思う。能登半島地震でも多くの被害が出ており、今もなお大きな状態が続く。南海トラフもいつ発生するかわからないので、明日は我が身という気持ちで今後の訓練も子供たちには取り組む続けて欲しい。 ・ファミリー活動を活用しており、とても良いと思う。 ・計画的に行う避難訓練の実施で子供たちが主体的に身を守ることをの学習が出来、自分の命は自分で守る、しっかりと根強く児童自身が理解し意識をもてるようになってほしい。 ・学校が取り組んでくれていることを家庭でも把握し、子供とも話し合えたら、より充実しているのではないかと思います。 ・児童数が少なく運動会や何か行事を実施するにしても大変な条件の中、課題に対して取り組んでいただけているように思います。	・鳴滝南ひまわり会(老人会)で2月5日(月)鳴滝小1階教室を借りて健康体操を行う。参加者は女性8名男性1名の計9名。13時30分～15時頃テープをかけて体操を行いその後はお茶を飲み、毎月1回、ありがとう！「様々な場の交流を設けたい」発信を続けることで、子供たちの学びの姿を知ってもらえるのはいいと思います。 ・他校では地域との交流が乏しく協力してもらいにも関わり方が難しい時もあると聞きました。地域交流の重要性をいつも協力いただけることにありがたかったです。 ・学校でよくもっており、表している言葉大切にしたい。 ・学校でよりよく通じて行事や学校の様子がよりわかりました。 ・以前の取組で和太の先生と一緒にベントシート、新聞紙、ジップロックを利用して作った簡易トイレを1階に置いていたのが今ではなくなったのかわからない。再度お願いしたい。 ・ふるあいまつりに参加していただいた他校の子供たちと一緒にゲーム等楽しんでもらえ、良い経験になったと思います。 ・評価結果からひとつひとつ課題を実施していただけているように思います。
改善年度法にに向けての意見	・得意、苦手の教科はあると思うが、子供たちがそれぞれのやり方を互いに知り合うことで授業内でもフォローし合うなど、先生のサポートもありつつ自らで進んで学んでいく力は、より身につくにつけて欲しいと思う。 ・意欲的に授業を受けられていると思う児童が91%というところでいいと思った。 ・教職員が同じ目標に立ち、様々な取組をしてほしい。 ・先生ベースを強化することは改善してほしい。 ・少人数対応である特性を活かし、特に低学年中に学習の基礎をしっかりと付けていける様にしてほしい。 ・国語の読み書き数字に対しても読書や読めればよいというのではなく、筆順、とめ、はね、はらうなど徹底できるチャンスである。忍耐がいるが何度も反復することで身につく、努力する、継続する力の基となると思う。 ・今までと同じく児童に寄り添った指導を続けていただけではない。 ・デジタル化の中にあってもアナログの大切さもありますね。	・ファミリー活動があるので、全学年の関わりも深くなるので仲間意識も強くなり、いいことだと思う。 学校が楽しいと感じる児童が多いのも、このおかげかなと思います。 ・楽しめる学校を継続してほしい。 ・人においても、生活においてもその場に合ったルールがあり、そのルールとは何のためにあるのか、なぜ守らなければならないのか、ルールやマナー、モラルは人への思いやり、時間を守ることであったり規則正しい生活をする中で健全な心と体の成長のバランスを整えながら育んでいける様に学校、家庭間での共有も密に行っていたきたい。 ・学校としてできることを保護者と話し合いながら行える学校と保護者との信頼関係が深まり協力し合え、児童のために良い環境が築けると思います。	・毎年楽しく運動会に参加させていただいています。午前中で終わるのもいいと思います。 ・内容も自分たちで考え一生懸命みんなで取り組むことで一体感も生まれるし、達成感も味わえるのでいいことではないかと思えます。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨を再度掲げてほしい。 ・運動会の午前開催は少人数の本校にとても合っていて、時間のゆとりも生まれ家庭の負担も軽減され、とても良いと思います。今後も継続していただきたい。定期的にも良かった。 ・家庭がそれぞれであっても正しい生活習慣が身につけている取組組を継続していただきたい。 ・朝ごはんを二人が食べていないとのことですが、なぜ食べてこれないのでしょうか。ただ単に食べてこないのかどうなのか。	・今後も、学校、地域、保護者との関係を大切に、様々な立場から子供たちが安心、安全な楽しいと思える学校生活が送れるよう尽力していきたい。 ・地域との交流イベントなど、とどんとしてほしい。夏祭りがなくとも地域の人が来ていたのが印象的で連携をすれば地域学習の機会があるのかなと思うので、次年度に期待する。 ・地域、保護者、学校の交流の中で、災害時にすぐに先生方が学校に駆け付けられないこともあり、地域の方でもすぐに対応出来る様に4階の防災グッズの教室を視察し、実際に衛星電話の使い方も教わった。地域にも呼びかければ昨今の災害で危機感も高まっているので、再度お願いしたい。 ・地域の方々も高齢化が進み、大変ではあると思いますが、子供たちのために地域と共に活動できればと思います。
3 その他のご意見	・年々児童数は減少傾向ではあるが少人数だからこそ体験できた行事もあったので、考え次第と思う。来季より、PTAも廃止になるので児童数が少ないと家庭数も少ないということになってくるので、より行事等への積極的な協力や参加依頼も必要になってくると思います。今後より一層の学校、地域、保護者の協力体制の構築も重要になると思います。 ・アンケートのデータに全てとられず、改善するところは改善し、継続するところはするで、児童がより楽しめる学校になることを切に願う。 ・子供たちは日々の成長の変化にいつだって気づいてほしい。「あのね、あのね！聞いて！ねえ聞いて！見て！」保護者や学校、まわりの身近な大人に声をかけてもらいたい。見てほしい。そんな気持ちにどう応えていけるか。主張できる子供は増えてはいるがもっともってと見てほしいと求めている。我々大人はどれだけ受け止められるか。それだけでなく子供たちが関心をもって聞ける話し方であつたり話術も必要だと感じる。毅然としたスタンスで一貫性を保ちながらも多様な必要とされる時代の中で、常に柔軟に更新していける様意識を高くもって対応していかなければならない。 ・家族に学校のことを話すことはコミュニケーションを回る取組で、学校に興味をもってもらい協力してもらえる環境づくりになると思います。 ・今年の学校運営協議会が「様々な取組を知り見る」ことが出来ました。仕事の都合上、短い時間になりましたが、良い体験となりました。有難うございました。来年度もよろしくお願い致します。 ・学校運営委員会に参加してはいるが、決まった会議の時だけしか学校に行っていないのが正直なところです。自分だけがそうなのかもしれないですが、先生が言われるいろいろな取組を見るのも大事かと思えます。協議会の会議だけに限らず気軽に話ができる機会を作っていたらいいかなと思います。 ・学校をあまり訪ねいくことができて、お役に立てたので申し訳ないです。何かお役に立てることがあれば協力させていただければと思います。 ・初めて学校運営協議会に参加させていただきましたが、現在の学校の様子を見ることができ、現状を共有することができたという印象です。学園も「地域と共にある施設」として鳴滝小学校と同じ目標を掲げ、取り組んでいきたいと思っています。			